

DENON®

DL-110

ステレオカートリッジ

取扱説明書

DENON ステレオカートリッジ DL-110 をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

DL-110は、音質の優れたムービングコイル (MC) 形カートリッジを、より多くの方々に楽しんでいただくためにDENON の持つ高度な MC カートリッジ作りのノウハウを結集して完成した MM 並の手軽さでお使いいただける高出力 MC カートリッジです。

高価格製品に劣らぬトレース能力、フラットな周波数特性をはじめとする優れた諸特性、音質を十分発揮させていただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。なお万一、ご使用中に疑問な点や不都合が生じた時のためにも、本取扱説明書は必ず保存ください。

付属品は次の通りですので、ご確認ください。

- 針先用ブラシ …………… 1
- ウエイトバランス用プレート …………… 1

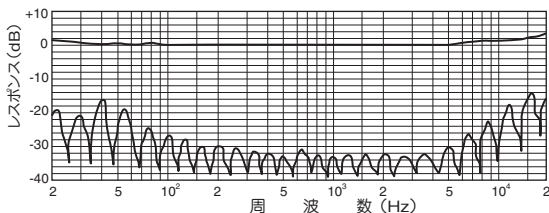
なお、ケースはシェルスタンドとしてご利用ください。また、輸送用ダメージシェルはオーバーハングゲージ、針先確認用ルーベとしてご利用ください。

<特長>

- MM並の出力電圧を有する高出力MCカートリッジ ステップアップトランスやヘッドアンプを必要とせず、アンプのMMポジションにダイレクトに接続できる高出力MCカートリッジです。
- 妥協を許さない合理的な振動系 伝統の十字形アーマチュア、二重構造カンチレバー、サスペンションワイヤーによる振動中心一点支持方式等、細部にわたり高度な技術を用いています。このため高価格製品に劣らぬバランスのとれた諸特性と優れた音質を得ています。
- 優れた温度特性と軽量ボディ

DENON 独自の振動系と2ウエイダンピング方式により、温度差による音質の変化を押えています。また、磁気回路の簡素化により自重を小さくすることができ、レコードのそり等に対する追従性を有利にしています。

DL-110 出力電圧およびクロストーク周波数特性



<ご使用上の注意>

- 針先はデリケートです。指で押すなど余分な力が加わりやすくと破損することがありますので、シェルに取り付ける時など、細心の注意をもってお取り扱いください。
- 非常に強いマグネットを使用していますので、鉄製のターンテーブルには使用できません。また、シールドなどのため、ターンテーブルやアームの近くに鉄板等の磁性材料を設けたプレーヤーには使用できない場合があります。なお、鉄製のドライバーなどを不用意に近づけずと吸いよせられ、針先を傷めることがありますので、十分ご注意ください。
- ゴミやほこりをきらいます。針先やレコード面にゴミやほこりが付着したまま演奏しますと、音質を損なうばかりか大切なレコードまで傷めてしまいます。針先のゴミは付属のブラシで、カンチレバーの根本から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。なお、レコード面のゴミやほこりは良質のレコードクリーナーで良く取り除いてください。

<主な仕様>

発電方式	ムービングコイル式
出力電圧	1.6mV (1kHz 50mm/s 水平方向)
左右感度差	1dB 以内 (1kHz)
左右分離度	25dB 以上 (1kHz)
電気インピーダンス	160 Ω
コンプライアンス	8 × 10 ⁻⁶ cm/dyne (100Hz レコードによる)
針先	0.1 × 0.2mm 角ソリッド特殊楕円針
針圧	1.8 ± 0.3g
再生周波数範囲	20Hz ~ 45kHz
自重	4.8g
負荷抵抗	47k Ω以上

仕様および外觀は、改良のため予告なく変更することがあります。

当社製品のご相談と針交換についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570 (666) 112

FAX: 044 (544) 3171

■受付時間 9:30 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

■上記番号がご利用いただけられない場合 ☎ 03 (3570) 5138

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

■お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。

<http://denon.jp/jp/html/faq.html>

■メールでお問い合わせをいただくこともできます。

<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

部品受注センター

☎ 0570 (200) 288

FAX: 0570 (550) 655

■受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

■上記番号がご利用いただけられない場合 ☎ 044 (670) 2627

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル 3F

■針交換は、オンラインショップでご購入可能です。

<http://www2.enekoshop.jp/shop/dm-parts-onlineshop/>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Japan OOD 511 8248 704

<取り扱い方法>

1. ヘッドシェル、トーンアームへの取り付け

● DL-110 の取り付け方法は、JISおよび EIAJ 規格に準じていますので、市販されているほとんどのヘッドシェル、トーンアームに取り付け可能ですが、DL-110 の性能を十分発揮していただくために、安定した感度の良いトーンアームをご使用ください。

● ヘッドシェルに取り付ける時は、傾いたり曲ったりしないように。また、使用するトーンアームのオーバーハングに正しく合わせてください。この時、輸送用ダミーシェルがオーバーハングゲージになっていますのでご利用ください。(第1図)

● 出力端子の配置は第3図のように色分けしています。ヘッドシェルのリード線も同様に指定されていますので、正しく接続してください。

ご注意

出力端子にハンダ付などで熱を加えますと、断線等故障の原因となりますので、必ずリード線のチップをご使用ください。(第4図)

● トーンアームに、カートリッジを付けたヘッドシェルを取り付け、トーンアームの「0」バランスをとり、針圧を適正針圧に合わせます。次に針先をターンテーブルのレコード面上に静かにおろし、アームパイプがレコード面に対し平行になるように、アームの高さを調整してください。この時、カートリッジ前面の基準線がレコード面に写った基準線とほぼ一直線になることを確認してください。(第5図、第6図)

2. 針圧調整

● DL-110 の適正針圧は $1.8 \pm 0.3\text{g}$ です。諸特性は 20°C を基準にしておりますが、周囲温度などの条件により、低い温度で針圧を増すなど針圧をかえる場合でも、適正針圧の範囲内でご使用ください。

3. 出力電圧

● DL-110 の出力電圧は 1.6mV でMM形と同等の出力となっていますので、ヘッドアンプやステップアップトランスを使用する必要がありません。アンプのフォノ端子に直接接続してください。

4. 針交換について

● DL-110 は針先固定式ですので、針先の摩耗等で針交換の場合には、お買い上げ店へ現品をご持参ください。針交換価格にてお取り換えいたします。または、部品受注センターまでお問い合わせください。

